

窓辺をかえる、明日が変わる。

# TOSO

## 株主・投資家のみなさまへ

### 第72期中間期のご報告

2011年4月1日から2011年9月30日まで

#### トップインタビュー

競争力向上を通じて収益力を高め、成長分野へ積極投資

#### New Product

窓辺を引き立て、冷暖房効率向上にも寄与するカーテンレール

**「レガートスクエア」** 新発売

#### 特集

欧州の事業拠点 **TOSO EUROPE S.A.S.**  
**(トソーヨーロッパ)** を設立

株主優待制度のご案内／株主配当のお知らせ

**中間配当金を増配**

# トソー株式会社

証券コード：5956





## 競争力向上を通じて 収益力を高め、 成長分野へ積極投資

**Q** 当中間期は2期連続の増収・増益となりました。

期初に策定した売上高予想は0.6%の増収でしたが、実績はそれを上回る2.6%の増収となりました。好調要因の一つ目は、前期に投入した新製品を中心とした営業活動強化により、新規開拓が成果につながったことです。今年は節電が社会的課題となり日差しを遮るカーテンやブラインド類の需要が喚起され、それらのニーズに応える製品を効果的に提案できたことが寄与したと思います。二つ目には住宅市場の動向があげられます。震災発生後は新設住宅着

工が一時的に減少しましたが、夏頃には再開の動きがみられたほか、住宅エコポイントやフラット35Sの金利優遇など住宅に関する政府による景気刺激策の後押しもあり、当中間期の新設住宅着工戸数は前年同期を6.1%上回りました。これらの住宅市場活性化も好影響を与えたとみています。

弊社はこのたびの震災で被災された方々への支援活動として義援金1千万円を寄付いたしましたほか、仮設住宅に向けたカーテンレールやアコーデオンドア（簡易間仕切り）の資材供給など、事業を通じた被災地の復興支援にも取り組みました。これらは粗利率低下の要因のひとつにはなりませんが、継続的に取り組んでいる原価低減活動や経費削減等により、営業利益も期初予想を上回る27.5%の増益となりました。

なお、中間純利益が前年同期の損失から黒字転換したのは、増収効果に加えて、前年同期に計上した資産除去債務会計基準の適用による特別損失の計上がなくなった影響もあります。

平素は格別のご支援を賜り誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

おかげさまで、弊社は2011年9月30日をもって第72期中間期を終了し、増収・増益を達成することができました。

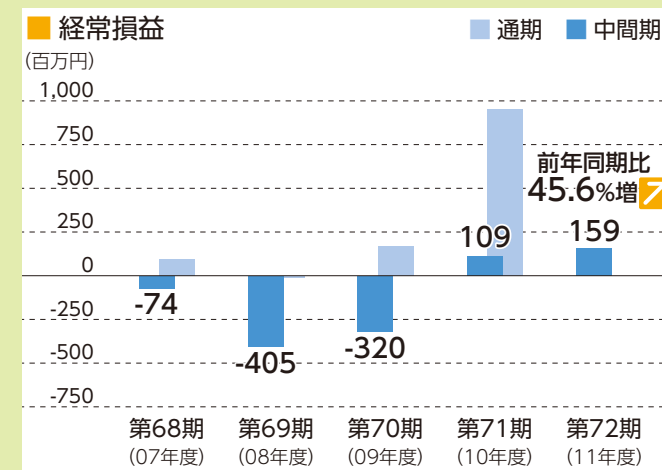
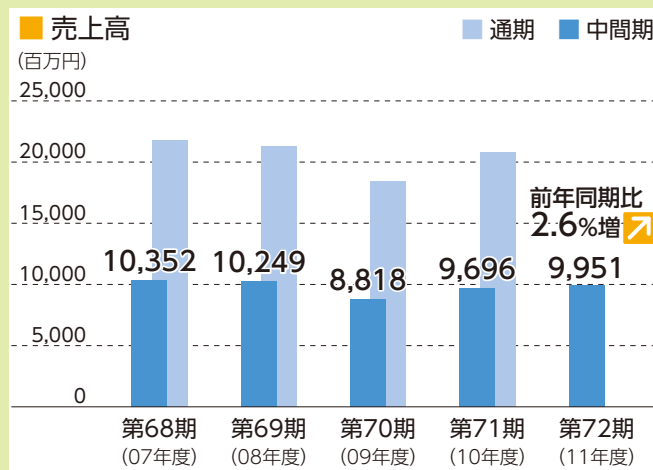
ここに事業の概況と今後の諸施策につきましてご報告いたします。

今後とも皆様の一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

取締役社長

大槻保人

### 連結決算ハイライト





## 重点的に取り組んでいるテーマとその進捗状況はいかがですか？

2009年度に減収決算となって以降、コア事業である室内装飾関連事業の競争力、収益力の着実な向上に取り組み、当中間期も一定の成果をあげることができました。特に商品面ではデザイン性や使いやすさ、省エネ・節電に寄与する機能の付加など、時代のニーズに応えるラインナップを整備してきたことで競争力が高まったと考えています。今後は新設住宅着工戸数の長期的な漸減が見込まれる中でも競争力の向上を持続させ、成長分野への投資を拡大していきたいと思っています。

成長分野として期待の大きい海外市場では2015年度に売上高構成率を10%以上にすることを目指しています。当中間期は物件獲得数の減少等により前年同期を下回る結果となりましたが、8月には欧州の事業拠点となる「TOSO EUROPE S.A.S. (トソーヨーロッパ)」(P6で詳しくご紹介) を設立するなど、中長期的な基盤の構築に着手して

います。現在策定中の2012年度をスタートとする次期中期計画では、海外市場への投資計画が重要なポイントと考えています。

リフォーム市場開拓に向けて着手したガラス、オーニングの販売や、ステッキを中心とした介護用品の販売実績は、いずれも前年同期を上回りました。現状は小さな売上構成比ですが、省エネ・節電や高齢化といったこれからの課題に対応した商品です。今後も一層取組みを強化し、新設住宅分野の動向に依存しない事業基盤の強化に向けて努力していきます。

### 中期事業計画の骨子

商品開発力向上	▶ 多様化するニーズ、および社会的課題に対応する差別化商品開発の強化
営業活動強化	▶ ストック住宅市場、および非住宅分野への活動深耕
海外販売拡大	▶ 新興国の市場開拓等を通じた海外売上高構成率の向上
製造コスト低減	▶ 製造原価、組立工数の削減 品質管理の向上
財務体質の強化	▶ 棚卸資産の圧縮



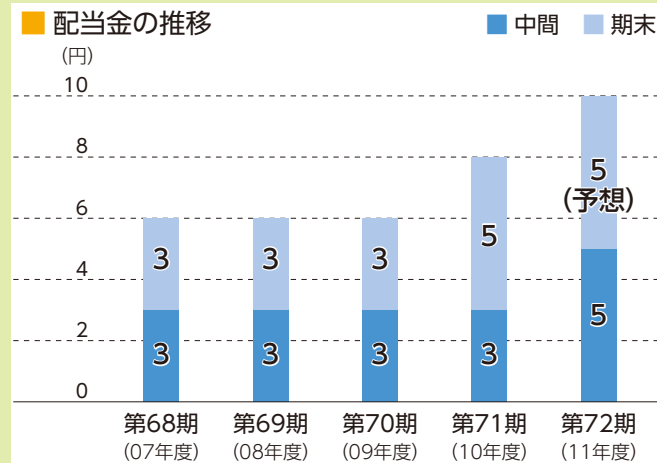
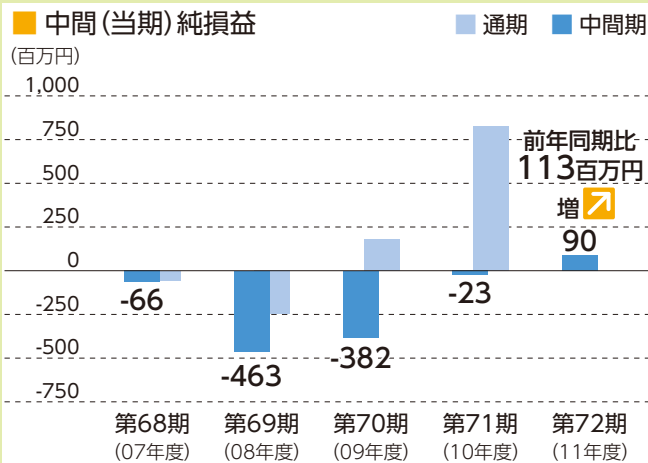
## 通期の見通しはいかがですか？

新設住宅着工は、震災の影響や政府による住宅関連支援策の影響が流動的であるものの、前期実績を上回るとみています。マンションの販売回復も入居者の窓周り商品購入増につながるため弊社にとっては好材料であり、こうした需要動向に対して戦略的な商品投入を行った結果が業績につながっています。今後も断熱効果の高い窓周り商品への注目度アップなどプラス要因を業績につなげ、増収・増益基調を継続していきたいと思っています。

なお、当期純利益の前期比減少は税負担が正常化することが主な要因であります。

### 2012年3月期 通期業績見通し

	売上高	前期比
売上高	21,000百万円	▲ 0.8%増加
営業利益	1,100百万円	▲ 12.8%増加
経常利益	1,050百万円	▲ 10.1%増加
当期純利益	600百万円	▲ 27.7%減少



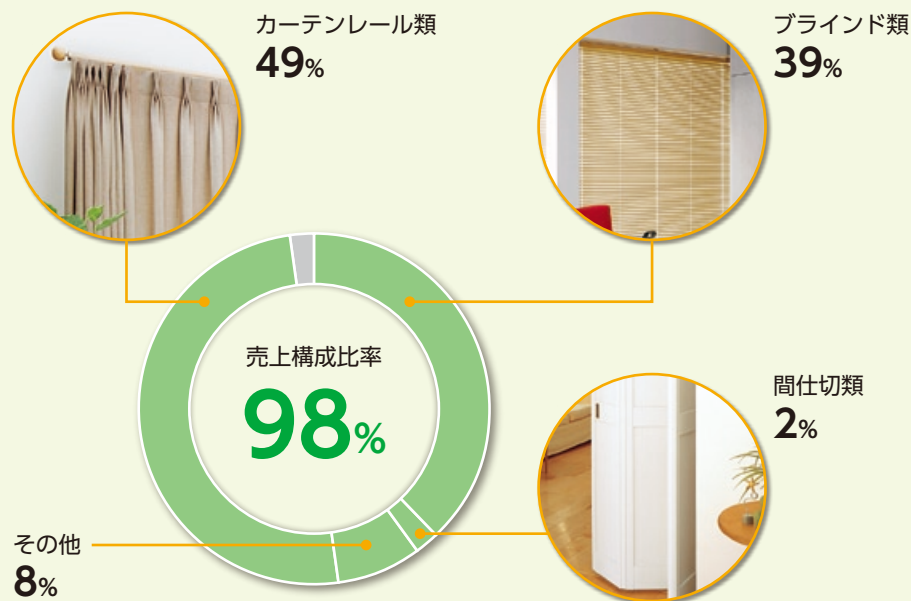
## 最後に株主の皆様へメッセージをお願いします。

おかげさまで当中間期は2期連続となる増収・増益を達成することができました。今後も事業領域の拡大に向けた投資活動を積極的に展開する一方で、株主様への利益還元も継続していきます。配当金につきましては、ある程度安定的に収益が見通せる状況となりましたので、前中間期比2円増配の5円といたしました。経営成績を一部反映した配当を行い、投資家の皆様にとって魅力ある企業になれるよう努力してまいります。一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

# 当中間期のセグメント別営業概況

## 室内装飾関連事業 カーテンレール国内シェアNo.1

### 事業内容



国内シェアNo.1のカーテンレールを中心に、ブラインド、ロールスクリーン等の窓装飾品や間仕切りなどを開発・製造・販売しています。

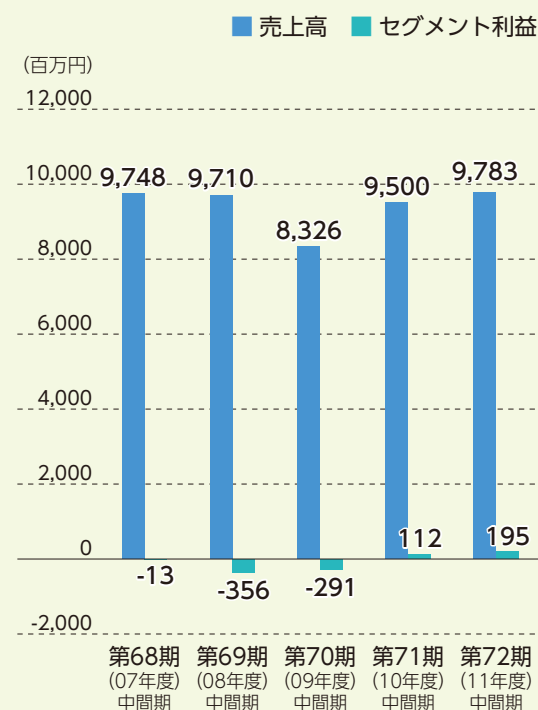
カーテンレール類はベーシックな製品からデザイン性の高いもの、開閉音の静かなものや電動カーテンレールなどトップメーカーならではの多彩な品揃えをもちます。また、病院のベッド周りに使用する間仕切りレールや絵画などを吊すピクチャーレール等の開発も行っております。

ブラインド類は横型ブラインドやロールスクリーン、ローマンシェード（たくし上げカーテン）や縦型ブラインドなど、デザインと機能にこだわった製品を総合的に開発しております。

### 当中間期の営業概況

売上高 **97億83百万円** (前年同期比 **2.5%増**)注

セグメント利益 **1億95百万円** (前年同期比 **34.2%増**)注



売上高は、新製品を中心とした営業活動の強化に加えて、省エネや節電が社会的課題となったことで、日差しを遮るブラインド類の需要が喚起されたことなどから前年同期を上回りました。

商品面では主力のカーテンレールでデザイン性と機能性を兼ね備えた装飾性カーテンレール「レガートスクエア」を発売したほか、ブラインド類でも質感と価格を両立したベーシック商品「コルト」シリーズに新たに横型ブラインドを追加するなど、商品ラインナップを一層強化いたしました。また、これらの新製品を早期に浸透させるため、全国各地で展示会を開催するなど積極的な営業活動を行いました。

セグメント利益は売上高の増加に加えて経費節減に努めた結果、増益となりました。

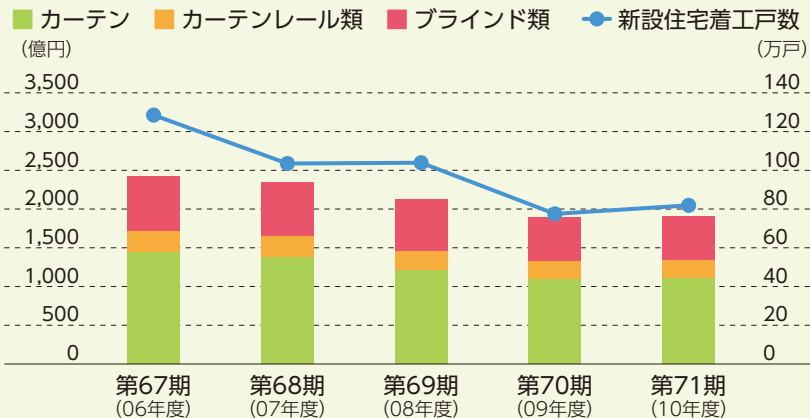
## 窓装飾品市場の推移

カーテン、カーテンレール類、ブラインド類を合計した窓装飾品の推定市場規模は2010年度で1,903億円※（卸売ベース）です。これらの製品の売上高は新設住宅着工戸数のほか、オフィスや病院など非住宅施設の建設動向に大きく影響を受けます。近年の市場規模は縮小傾向ですが、2010年度は新設住宅着工戸数の増加などから若干の市場回復となりました。

商品の品目別構成に大きな変化は見られませんが、近年は木製ブラインドや縦型ブラインドなどが普及し、ブラインド類の多様化が進んでいます。

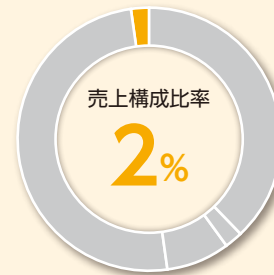
※データ出典：日本インテリアファブリックス協会

	第67期 (06年度)	第68期 (07年度)	第69期 (08年度)	第70期 (09年度)	第71期 (10年度)
カーテン（億円）	1,434	1,375	1,202	1,092	1,106
カーテンレール類（億円）	283	271	256	231	227
ブラインド類（億円）	700	699	669	575	571
窓装飾品合計（億円）	2,417	2,345	2,127	1,897	1,903
新設住宅着工戸数（万戸）	128.5	103.5	103.9	77.5	81.9



## その他の事業

### 事業内容

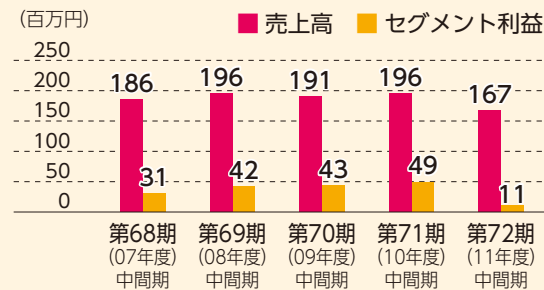


ステッキを中心とした介護用品を販売しております。そのほか、物流業務受託や損害保険契約の代理業務を行っております。

### 当中間期の営業概況

売上高 1億67百万円(前年同期比 9.8%増)注

セグメント利益 11百万円(前年同期比 26.3%減)注



ステッキを中心とした介護用品の販売が好調に推移した結果、売上高は前年同期を上回りましたが、セグメント損益は営業費用の増加により減益となりました。

注:当中間期よりセグメントの一部を変更し、従来「その他の事業」に含まれていたプラスチックチェーン等の仕入販売を「室内装飾関連事業」に変更しました。各セグメント業績の前年同期比についても変更後のセグメントに組み替えて表記しています。

窓辺を引き立て、冷暖房効率向上にも寄与するカーテンレール

# レガートスクエア

## カーテンレールメーカーNo.1のこだわり

2011年6月発売以来好評のカーテンレール新製品について、商品開発のキーパーソンに聞きました。



商品開発本部  
中村いつか

### 幅広く使えるデザインと省エネ機能が特長

カーテンレールにはインテリアやカーテンのトレンドにあったものが求められますが、「レガートスクエア」は日本の住宅にマッチする木目柄を採用し、家具や建具にあわせやすいようなフラットなデザインにしました。近時のトレンドである、ナチュラルモダンやシックモダン、和モダンなどのスタイルに幅広くご使用いただけます。

操作性は勿論のこと、冷暖房効率向上による省エネ性能があることが特長です。「カバートップ」という部品を使ってレールの上部を覆うことで、上部からの熱の流入を防ぐことができます。(右図参照)

これらのデザイン性や操作性、省エネ性能などの機能が評価されて、グッドデザイン賞(\*)も受賞しました。カーテンレールに限らず、これからの窓周り商品は省エネ性能などプラスアルファの機能をもった商品に注目が集まると思います。

### 新製品展示会で好評価

「レガートスクエア」はアルミ製のレールに木目調のフィルムをラッピングしたお求めやすい価格帯の商品です。弊社は以前からこのタイプでデザインの異なるカーテンレールを発売しており、それらはいずれもインテリア専門店様や住宅メーカー様から永くご好評をいただいていた。

「レガートスクエア」は、全国各地で実施した業界向けの新製品展示会でも、「シンプルなデザインが使いやすい」「省エネ性能があるのでお客様に提案しやすい」などの好評価をいただき、今後のロングセラー商品となる期待も高まっています。

### 徹底したマーケティングから生み出されたスタンダード商品

価値観が多様化している中で、インテリア製品にも自分らしさや心地よさが求められていると思います。「レガートスクエア」は決して驚くほど特徴的、個性的な商品ではありませんが、お求めやすい価格帯の商品ながらワンランク上の上質感を演出することができます。今後も徹底したマーケティングを踏まえて、上質感をもったスタンダード商品を生み出していきたいと思っています。



カーテンレール上部にカバーをつけて上部からの熱の出入りを軽減します。



さらに、カーテンの両端を壁際につけることで、両サイドからの熱の出入りを軽減します。

(\*) グッドデザイン賞とは、(財) 日本産業デザイン振興会が主催する総合的デザイン評価、推奨制度。シンボルの「Gマーク」は優れたデザインを示す象徴として広く一般に親しまれています。

## 欧州の事業拠点 TOSO EUROPE S.A.S. (トーソーヨーロッパ) を設立



業務執行役：オリビエ・ディスクルティフ

2011年8月に、ヨーロッパ市場における窓周り製品の販売強化を目的とした子会社「TOSO EUROPE S.A.S. (トーソーヨーロッパ)」をフランス共和国のパリ郊外に設立しました。

弊社は、経営計画の重要テーマである海外売上高の拡大に向けて、2002年に中国・上海に「東装窓飾（上海）有限公司」を設立。中国市場での販売強化に取り組み、高級ホテ

ルやマンション等への納入実績を重ねてまいりました。今後一層の海外販売拡大を目指すにあたり、経済規模が大きく、インテリア文化の情報発信地でもあるヨーロッパ市場にて本格的な販売に取り組むことにいたします。

新会社では現地仕様のカーテンレールやロールスクリーン等を生産し、インテリア関連の専門店への販売をベースに、ホテル、オフィス等への納入を目指します。設立当初は

主にフランス共和国国内での販売活動を行い、順次ヨーロッパの主要各国に商圏を拡大していく計画です。

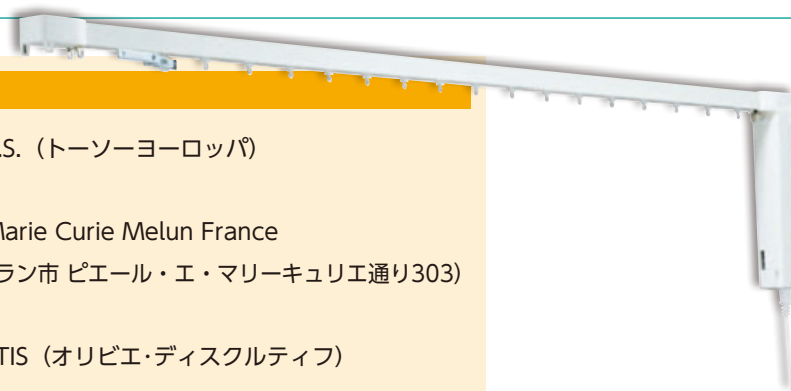
今後、新会社のヨーロッパ市場での販売拡大を通じて、「TOSO=高品質かつデザイン性の高い窓周りの世界ブランド」として認知されることを目指し、一層の事業拡大につなげていきたいと考えています。



トーソーヨーロッパ外観

### 会社概要

- 会社名：TOSO EUROPE S.A.S. (トーソーヨーロッパ)
- 設立：2011年8月
- 本社所在地：303 rue Pierre et Marie Curie Melun France  
(フランス共和国 ミュラン市 ピエール・エ・マリーキュリエ通り303)
- 代表者：トーソー株式会社  
業務執行役：OLIVIER DESCOURTIS (オリビエ・ディスクルティフ)
- 資本金：150万ユーロ
- 事業内容：カーテンレール、ロールスクリーン等の窓周り製品の製造・販売

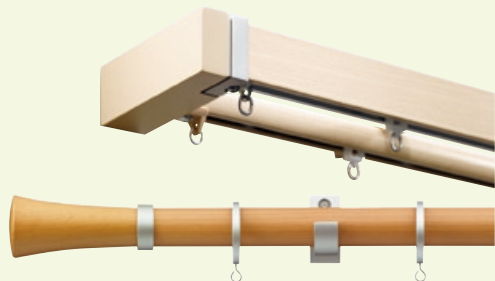


販売を予定している商品の一例  
(電動カーテンレール)

# TOPICS 2011年度中間期のトピックス

## 6月 カーテンレール新製品発売

近時のインテリアトレンドを取り入れながら機能性も備えたカーテンレール新製品を発売。(一部をP5で紹介)



## 8月 個人投資家向け展示会 「IRフォーラム2011東京」へ出展

東京・青山のTEPIA (テピア) で開催された個人投資家向けのIR展示会「IRフォーラム2011 東京」(主催:株式会社ツバルの森)に出展。株価の形成には個人投資家の方々を中心とした株主数の増加を図ることが重要と考え、事業内容や中長期展望等のご説明をさせていただきました。長期展望で重視している海外市場への取組みに対する期待や、配当・優待等の株主還元については評価をいただいた一方で、株価が長期にわたり低位に推移していることや、株式流動性については厳しいご意見もいただきました。ご来場いただいた方々からのご意見を真摯に受け止め、今後も有意義な情報を発信できるようにIR活動を行ってまいります。



2011年

4月

5月

6月

7月

8月

9月

## 5月 新製品展示会 「トーソーウインドウファッションフェア2011」を開催

インテリア業界関係者向けの新製品展示会「トーソーウインドウファッションフェア2011」を開催。2003年以降毎年開催している同展示会は、「窓周りの最新トレンドやスタイルがわかる」と好評を博しています。今年度は全国34都市に規模を拡大して開催、新製品のほか、窓周りの省エネルギーの提案などに関心が集まりました。



## 8月 TOSO EUROPE S.A.S.(トーソーヨーロッパ)を設立(P6で紹介)

## 9月 トーソーだから実現できる、カーテンメーカーの合同発表会 with Curtains 2011を開催

日本を代表するカーテンメーカー10社の新製品情報や最新のインテリアトレンドを、インテリアコーディネーターなどに紹介する発表会を東京国際フォーラムにて開催。レールメーカーとして、カーテンメーカーとつながりの深いトーソーだからこそ実現できるイベントとの評価をいただきました。今後も魅力的な商品開発と共にソフト提案にも力を入れてまいります。





# 株主優待制度のご案内／株主配当のお知らせ

## 株主優待

弊社では、株主様の日頃のご支援にお応えすると共に、弊社株式への投資魅力を高め、株主数の増加を図ることを目的に株主優待制度を設けております。

### 3,000円相当の商品を贈呈！

ギフトカタログに掲載された旬の食材や生活用品等35品目の中から、お好みの品物1点をお選びいただけます。



※対象株主様  
毎年3月末日現在の株主名簿に記載された1単元（1,000株）以上保有の株主様を対象といたします。  
※2011年3月末日を権利確定日とする株主優待は、2011年9月末日をもってお申し込みの受付を終了しております。

### 株主優待を通じた東日本大震災義援金として 240,000円を寄付

東日本大震災による被災地支援のため、2011年度の株主優待では商品に替えて義援金を選択できるようにさせていただきました。皆様からの温かいご支援の結果、株主優待にお申し込みいただかなかった株主様の優待相当額を含めて、240,000円を日本赤十字社を通じて寄付させていただきました（振込日：2011年10月18日）。

皆様のご協力で心から感謝申し上げますと共に、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

### インドネシア植林へ225,000円を寄付

前回に引き続き、2011年度の株主優待でも「インドネシア植林への寄付」を設けさせていただきました。今回は植林への寄付にお申し込みいただいた方々および株主優待にお申し込みいただかなかった株主様の優待相当額をあわせて、225,000円を弊社インドネシア共和国子会社の植林事業に寄付させていただきます。植林活動は2011年12月に予定しており、実施報告は「第72期のご報告」にてお知らせさせていただく予定です。今後も株主の皆様と共に環境保全活動に努めてまいりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

## 株主配当

### 中間配当金を増配

弊社は、上場企業として株主の皆様への利益還元は重要な責務であり、安定的な配当の継続を重視しつつ業績および今後の設備投資計画等を勘案して利益配分を行いたいと考えております。

2012年3月期の中間配当金につきましては、連結業績が堅調に推移する見通しであることから5円に増配いたしました。

なお、期末配当金につきましては5円、年間配当金は中間配当金とあわせて合計10円を予定しております。今後も収益力向上と財務体質の強化を図り、利益還元を努めてまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ■1株あたり配当金の推移

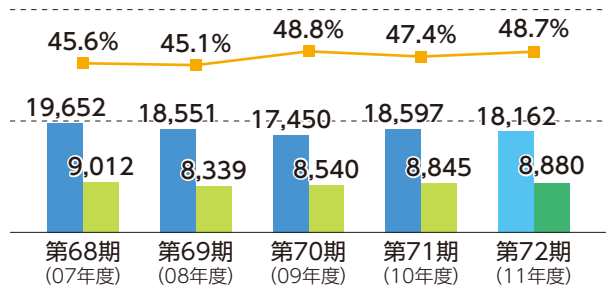
	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
中間配当金	3円	3円	5円
期末配当金	3円	5円	5円(予)
合計(年間)	6円	8円	10円(予)

# 財務諸表 (連結)

中間連結貸借対照表 (単位: 百万円)

	前期末 2011年3月31日 現在	当中間期末 2011年9月30日 現在
<b>資産の部</b>		
<b>POINT1</b> 流動資産	14,545	14,121
固定資産	4,052	4,041
有形固定資産	2,913	3,101
無形固定資産	257	231
投資その他の資産	881	708
資産合計	18,597	18,162
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,842	5,439
固定負債	3,909	3,842
<b>POINT2</b> 負債合計	9,752	9,281
<b>純資産の部</b>		
株主資本	9,106	9,177
資本金	1,170	1,170
資本剰余金	1,344	1,344
利益剰余金	6,976	7,029
自己株式	△385	△385
自己株式申込証拠金	—	18
その他の包括利益累計額	△288	△325
その他有価証券評価差額金	32	20
繰延ヘッジ損益	△127	△151
為替換算調整勘定	△193	△194
少数株主持分	28	28
純資産合計	8,845	8,880
負債純資産合計	18,597	18,162

■ 総資産・純資産・自己資本比率 (百万円)   
 総資産 ■ 通期 ■ 中間期   
 純資産 ■ 通期 ■ 中間期   
 自己資本比率 —



中間連結損益計算書 (単位: 百万円)

	前中間期 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	当中間期 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	前期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで
売上高	9,696	9,951	20,832
売上原価	5,437	5,675	11,640
売上総利益	4,258	4,275	9,192
販売費及び一般管理費	4,098	4,070	8,217
<b>POINT3</b> 営業利益	160	204	975
営業外収益	53	39	143
営業外費用	104	84	164
経常利益	109	159	953
特別利益	0	0	2
特別損失	98	6	99
<b>POINT4</b> 税金等調整前中間(当期)純利益	11	153	856
法人税、住民税及び事業税	51	45	116
法人税等調整額	△14	18	△89
少数株主損益調整前中間(当期)純利益又は少数株主損益調整前中間純損失(△)	△24	89	830
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	△1	0
中間(当期)純利益又は中間純損失(△)	△23	90	829

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

	前中間期 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	当中間期 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	前期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	476	792	859
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80	△246	△122
財務活動によるキャッシュ・フロー	△696	△173	△953
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△8	△25
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△309	364	△242
現金及び現金同等物の期首残高	3,339	3,097	3,339
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	3,029	3,461	3,097

**POINT5**

## POINT

### POINT1 流動資産

#### 前期末より424百万円の減少

売上高の季節変動の影響により、受取手形及び売掛金が932百万円減少しています。

### POINT2 負債合計

#### 前期末より470百万円の減少

支払手形及び買掛金が355百万円減少したほか、借入金や社債の返済・償還により有利子負債が103百万円減少しています。

### POINT3 営業利益

#### 前年同期比44百万円の増加

売上高が255百万円増加したことに加え、販売費及び一般管理費を27百万円削減したことなどから増益となりました。

### POINT4 税金等調整前中間純利益

#### 前年同期比142百万円の増加

経常利益が50百万円増加したことに加え、前年同期に特別損失に計上した資産除去債務に関する会計基準の適用による影響額(97百万円)が発生しなかったことから増益となりました。

### POINT5 財務活動によるキャッシュ・フロー 173百万円の支出

社債の償還による支出が85百万円あったほか、配当金の支払いにより52百万円の支出がありました。

## 会社概要 (2011年9月30日現在)

会社名 トーソー株式会社  
 英文社名 TOSO CO.,LTD.  
 本社所在地 〒104-0033  
 東京都中央区新川一丁目4番9号  
 電話 03(3552)1211(代)  
 設立 1949年9月  
 資本金 11億7,000万円  
 主な事業内容 インテリア製品の開発、製造、販売  
 国土交通大臣許可内装仕上工事業(般-18)第16989号  
 ISO9001認証取得:JQA-QM5920製造本部/商品開発本部  
 ISO14001認証取得:JQA-EM2416つくば事業場/水海道事業場

従業員数 933名(連結)、567名(単体)

### 役員

代表取締役社長	大槻保人
代表取締役 専務取締役	中村 潔
常務取締役	松尾 守
取締役相談役	大槻 秀人
取締役	林 淳之
取締役	久保田 英司
取締役	花田 正孝
取締役	森 兼康博
取締役	藤田 洋一
常勤監査役	畠山 時男
監査役	加瀬 兼司
監査役	久保 英幸

(注) 監査役加瀬兼司氏及び監査役久保英幸氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

### 新任代表取締役ご挨拶

6月29日付で新たに代表取締役に就任いたしました。社業の発展を通じて企業価値を高め、社会に貢献できるよう邁進する所存でございます。引き続き皆様からのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役 専務取締役  
**中村 潔**

## 株式情報 (2011年9月30日現在)

発行可能株式総数 30,000,000株  
 発行済株式の総数 11,897,600株  
 株主数 970名

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
大槻保人	1,511	12.70
トーソー取引先持株会	862	7.24
トーソー社員持株会	600	5.04
株式会社みずほ銀行	458	3.85
十和運送株式会社	449	3.78
株式会社三菱東京UFJ銀行	338	2.84
第一生命保険株式会社	222	1.86
株式会社東京都民銀行	216	1.82
株式会社常陽銀行	215	1.80
大槻秀人	203	1.71

(注1) 持株数は千株未満を、持株比率は小数第2位未満をそれぞれ切り捨てて表示しております。

(注2) 弊社は自己株式1,439千株を保有しております。

## 事業拠点一覧

営業拠点 札幌支店、仙台支店、さいたま支店、  
 東京支店、横浜支店、名古屋支店、大阪支店、  
 広島支店、福岡支店

営業所16ヶ所

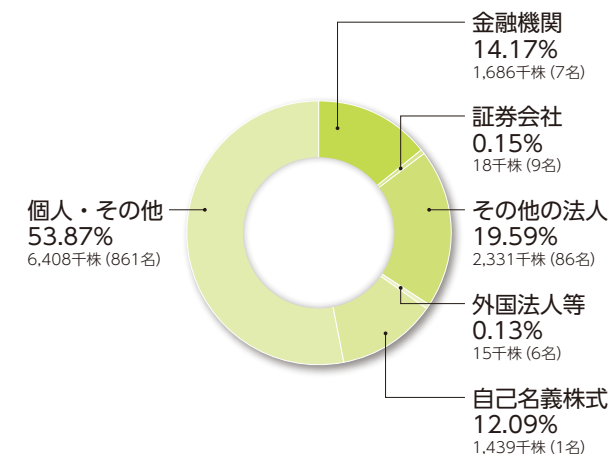
国内工場 つくば工場(茨城県)、水海道工場(茨城県)

物流拠点 流通センター(茨城県)、  
 流通センター(兵庫県)、札幌配送センター、  
 福岡配送センター

ショールーム トーソープラザ(東京都)

連結子会社 サイレントグリス株式会社  
 トーソーサービス株式会社  
 フジホーム株式会社  
 トーソー流通サービス株式会社  
 トーソー商事株式会社  
 P.T.トーソー・インダストリー・インドネシア  
 東装窓飾(上海)有限公司  
 トーソーヨーロッパS.A.S.

### 所有者別分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月末日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	中央三井信託銀行株式会社 東京都港区芝三丁目33番1号
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話0120-78-2031(フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する。
ホームページアドレス	<a href="http://www.toso.co.jp">http://www.toso.co.jp</a>
上場取引所	東京証券取引所市場第二部

## 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

## 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

## 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際には、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をされる株主様は大切に保管してください。

(表紙写真)  
カーテンレール  
「レジオスパテオ25」

# トソー株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川一丁目4番9号

<http://www.toso.co.jp>

証券コード：5956



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

